

## 東海経済レポート（2012年5月）

～足元堅調だが、欧州債務問題の悪化による下押し圧力の増大が懸念材料～

経済調査室（名古屋）

### 1. 足元の経済情勢

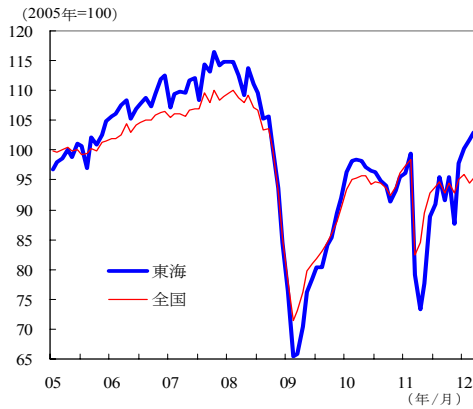
東海地域では、エコカー補助金による国内自動車販売の好調と自動車を中心とした輸出の持ち直し持続から足元の景気は堅調であり、生産も高水準で推移している。

- ✓ 生産は、3月は前月比+1.2%と3ヵ月連続で増加した。国内と北米向け需要が堅調な輸送機械が、引き続き牽引役となった。
- ✓ 輸出は、4月は前年比+34.4%と3ヶ月連続で増加。自動車生産の正常化と前年の水準が低いことを背景に改善傾向を維持している。
- ✓ 設備投資は底堅く推移している。設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額をみると、3月は前年比+34.0%と大幅に増加。
- ✓ 雇用も改善傾向が続いている。愛知県では、輸送機械の大幅増産に伴う期間従業員の新規採用の動きなどから、有効求人倍率が1.09倍と2008年11月（1.24倍）以来の水準まで上昇。
- ✓ 個人消費もまずまず。3月は大型小売店販売が8ヶ月振りに前年比プラスに転じた。住宅着工も、7ヵ月振りに前年比プラスとなった。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

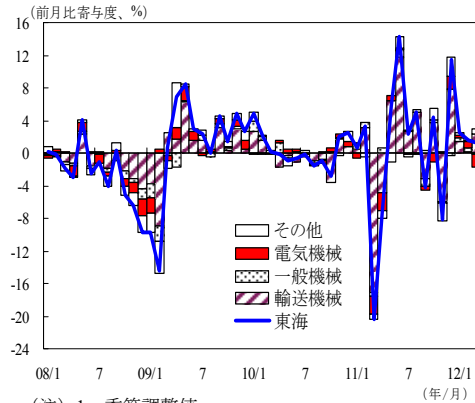
- ✓ 積極的な新型車の投入とエコカー補助金の需要押し上げ効果を追い風に、国内自動車販売の好調はしばらく続きそうで、秋口までは高水準の生産が持続すると見込まれる。
- ✓ ただし、東海経済としては、欧州債務問題のさらなる悪化等によって、①世界経済の減速、②円高の再発、③世界的な資産価格の下落、等の下押し圧力が増大し、輸出の改善傾向にブレーキがかからないか、注視が必要であろう。

**生産①** 3月の鉱工業生産指数は前月比+1.2%と増加し、リーマンショック後のピークを更新。



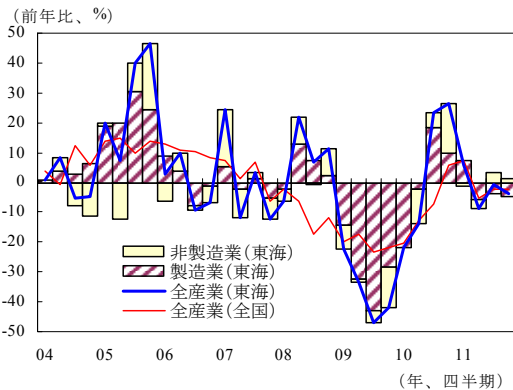
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、輸送機械が増加し、電気機械と一般機械はマイナスへ転じた。



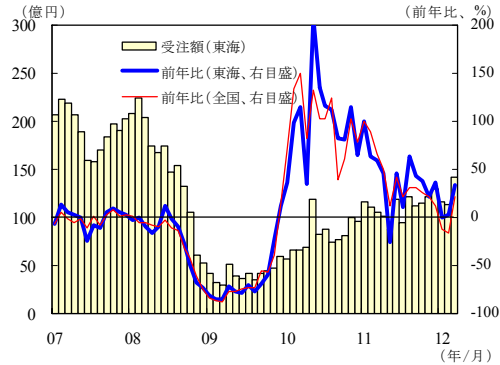
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 10-12月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比▲3.7%とマイナス幅がやや拡大。



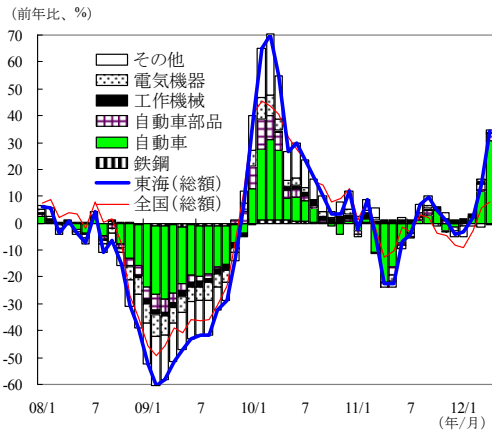
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、3月は前年比+34.0%と大幅に増加。



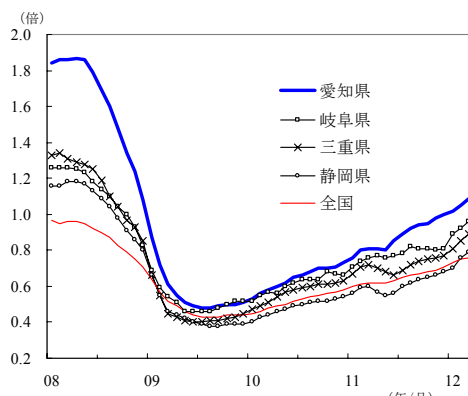
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 4月の輸出額は、前年比+34.4%と3カ月連続で増加。



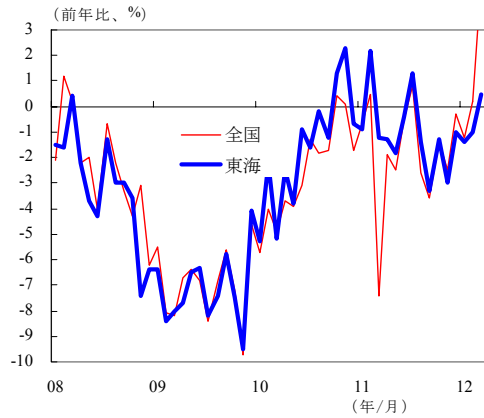
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 3月の愛知県の有効求人倍率は1.09倍と、2008年11月(1.24倍)以来の水準まで上昇。他県も回復傾向を維持。



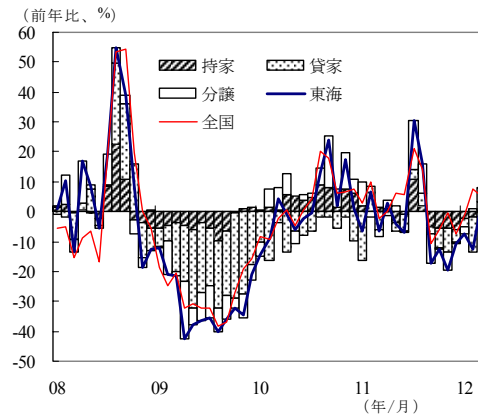
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 3月の大型小売店販売額(既存店)は前年比+0.5%と8ヵ月ぶりにプラスへ転じた。



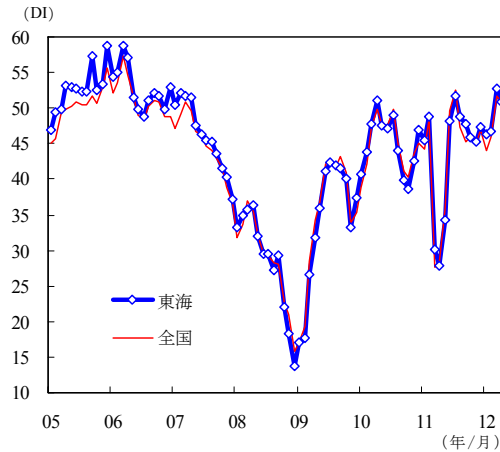
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 3月の住宅着工戸数は前年比+2.2%と、7ヵ月ぶりにプラスへ転じた。



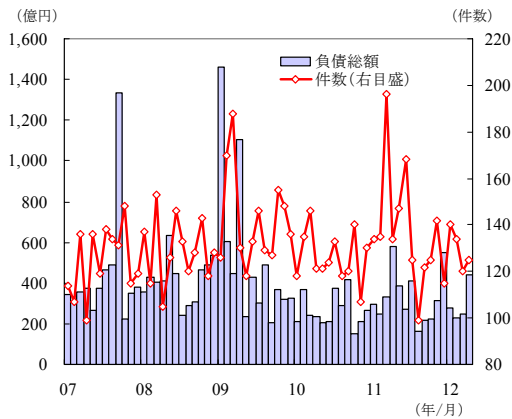
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 4月の景気現状判断DIは50.8と、ほぼ横ばい。



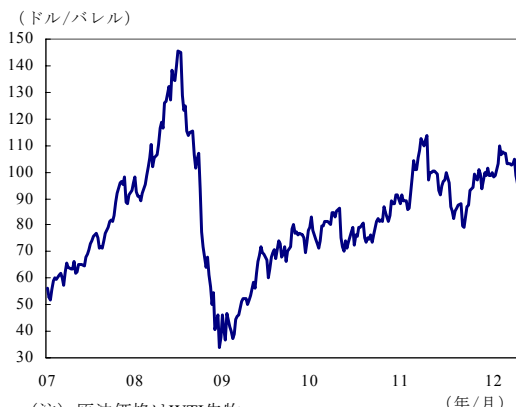
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 4月の企業倒産件数は125件と増加(前年比では▲6.7%)。負債総額は同▲23.3%と減少。



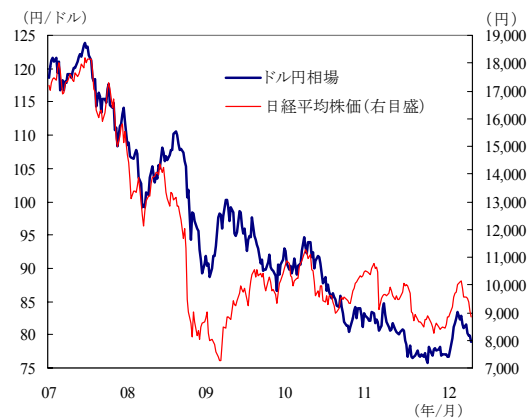
(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** ギリシャ情勢の悪化等を背景に世界経済の減速懸念が強まったこと、緊迫化していたイラン情勢が緩和するとの観測などから、90ドル弱にまで下落。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** ギリシャ情勢の悪化等を背景に世界経済の減速懸念が強まり、株価は下落。ドル円相場は80円割れの円高に。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H24.5.28 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。